

第四十四回 宗像歌会

平成二十八年九月十七日(土)

自由詠

題詠『旅』

落雷で

トナカイ300頭死亡

今年のクリスマス

プレゼント来る？

幼子の心配顔

松本 晴美

松本 晴美

いつも降りる駅より

5つ先の駅で降り

知らない町を散策する

荷物も持たない

私の小さな小さな旅

春が来て

夏が来て

また 秋が来る

巡る巡る四季があつて

冬もうれしい

高原 美智子

杉本 明美

私の出した年賀状

あて先不明で

戻つて来た

二倍の旅を

ご苦労さま

あの暑さが

嘘のような今宵

虫の音が心地よく

秋はゆるやかに

近づいてきた

玉田 久美子

高原 美智子

教会のバラ窓から

降りそそぐ

太陽のきらめきの

中に立つ

ああ旅つていいなあ

リオ五輪 日の丸背負い

小さな白球追つて

激闘の末 銅メダル

福原愛ちゃんの涙

すべてを語っている

大槻 幸子

娘自慢に

孫自慢

夫の自慢はなし

ん？だから私が

旅友なのね

山本 香代

